



うめかおる

御幸公園梅香事業推進計画の7本柱

1 魅力の発信

梅林への愛着を深めていただけるよう、梅まつりなどをおとして、地域の魅力発信に努めます。



梅まつり

市制100周年記念事業、区制50周年イベント、市制100周年の中間点としてのハーフイベントで梅まつりを開催します。



写真展

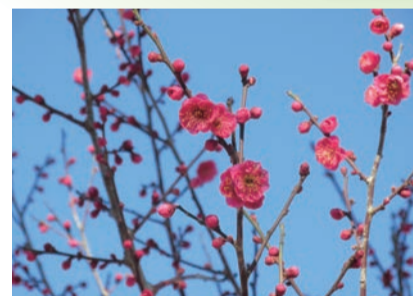
4月、5月には幸区役所、日吉出張所で平成29年度うめかおる写真展を開催します。

3 梅林の復活

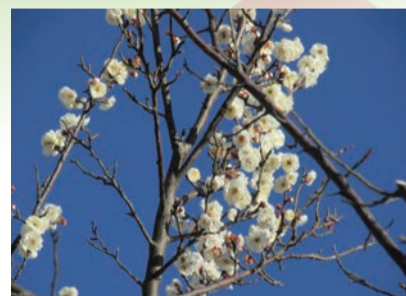
梅林が観梅の名所となるよう、また地域のシンボルになるよう梅の植樹を進めます。植樹に関しては、配置や品種を工夫し、市民とともに楽しめる梅林とします。



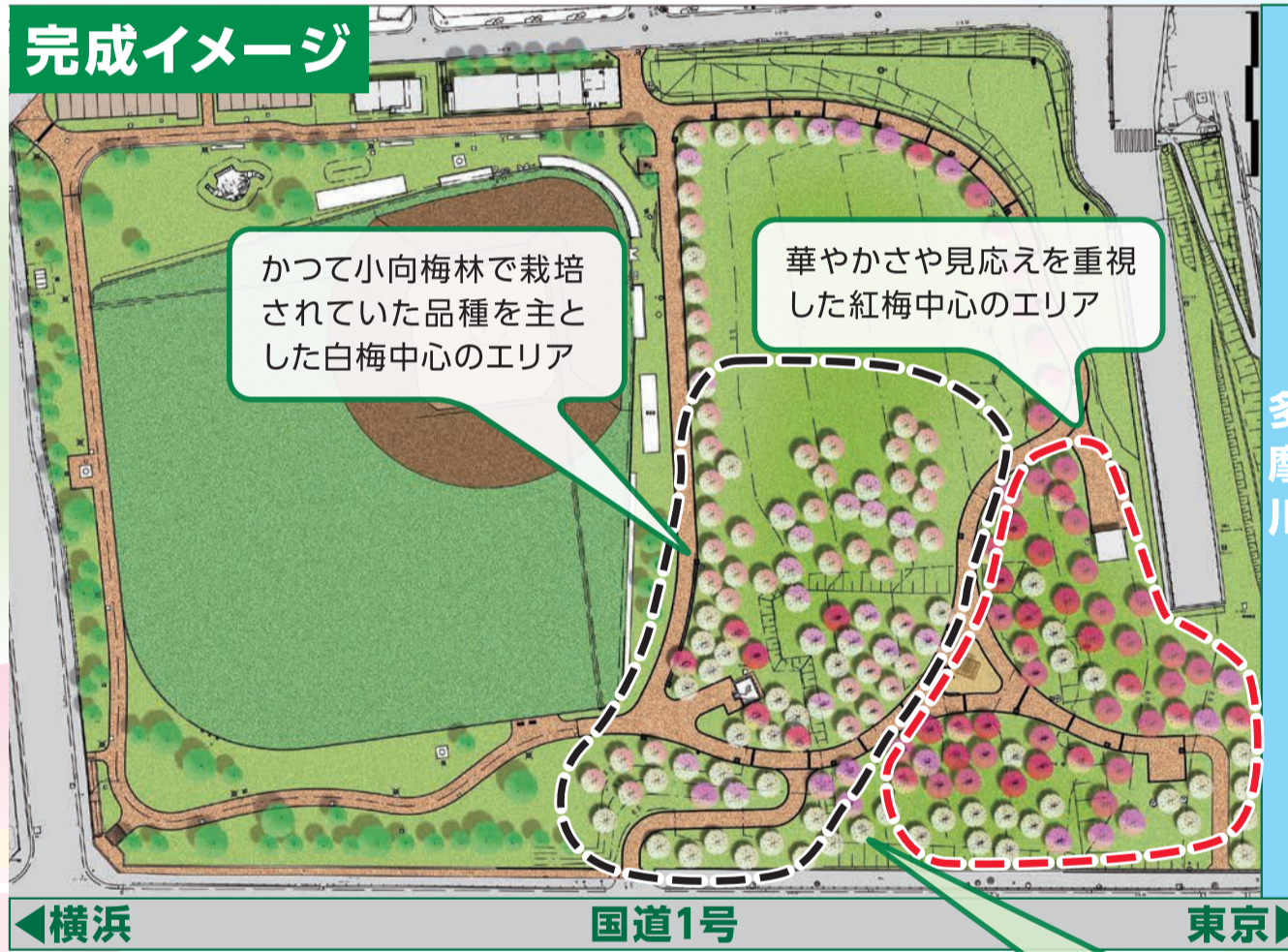
平成28年10月に市民100万本植樹運動により梅の苗木が植樹されました。



昨年植えた梅の木にも花が咲きました(1月撮影)



完成イメージ



かつて小向梅林で栽培されていた品種を主とした白梅中心のエリア

華やかさや見応えを重視した紅梅中心のエリア

実梅も花梅も楽しめるように植樹する品種も工夫します

6 次世代への継承

幸区内の市立小中学校では校章に梅の花のデザインが用いられている学校が6校あるほか、校歌に梅にちなんだ言葉が使われている学校が5校あります。

身近な存在である梅について学校教育などとも連携し、次世代に受け継いでいけるよう取り組みを進めていきます。



学校教育などと連携して写生やスケッチなどの場としての活用を進めます。(川崎総合科学高等学校デザイン科の生徒によるスケッチの様子)



御幸中学校



御幸小学校



西御幸小学校



古川小学校



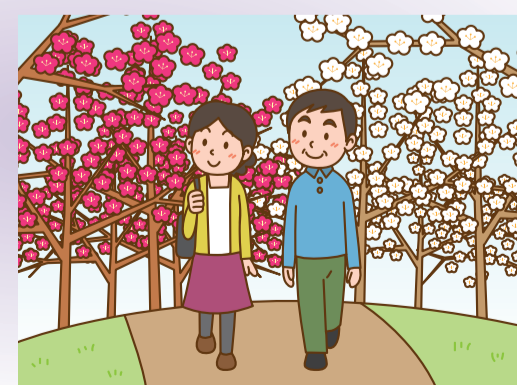
戸手小学校



南河原小学校

7 公園の利用促進

地域コミュニティの場として利用していくためには、幅広い年齢層の様々な用途に対応した公園機能が求められます。観梅や「梅まつり」など各種イベントのほか、芝生広場や健康関連施設の充実を図ります。



散策路等の整備
梅林内を回遊しながら梅の花を楽しめるように散策路の整備を行います。

芝生広場
地域の方が楽しめるスペースとして、また、市制100周年に向けた様々なイベントで利用できるスペースとして改修を進めます。



梅香事業推進会議により事業の検討を行いました



御幸公園梅香事業を地域住民とともに協働して推進するため、2015(平成27)年6月に梅香事業推進会議が発足されました。推進会議では、地元の町内会や老人クラブ、子ども会、企業、観光協会、区役所がメンバーとなって、地域との協働事業や梅林の活用に関する検討がなされています。

2 歴史・文化の伝承

小向梅林は江戸時代から二百数十年、観梅の名所として有名であった歴史があります。地域の歴史を知り、地域への愛着を育むことができるよう、歴史や地名の由来についての講演会などを開催します。

今後開催を予定しているテーマ

- ・「明治時代の小向梅林」
- ・「川崎市の近代化と幸区」
- ・「地名から見た幸区」



明治天皇臨幸御観梅跡碑
御幸公園内に設置されています。

歴史講演会

平成28年度には「小向梅林と御幸地区の歴史」をテーマとして開催しました。



4 梅林の活用

御幸公園を中心に市民が集い、交流を深めるため、梅林、梅の果実などを活用した様々な取り組みや梅まつりなどのイベントを市民との協働により推進し、世代間交流や地域コミュニティの活性化に努めます。



収穫された果実の梅干しや梅酒、和菓子、洋菓子、ジャム、料理などへの活用を推進します。



かつての小向梅林の風景をめざし、学校や事業所などに梅の苗木を提供します。

5 梅林の保全

梅の維持管理を、市民との協働により進めることが重要であり、市民による管理運営の手法を検討します。



剪定講習会の様子

梅香事業推進会議において他都市の梅林視察を行い、梅林の保全対策について参考にしました。

